

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校

学校番号 (38)

評価実施日		令和4年2月14日(月) * 書面開催	
委員	氏名	所属等	備考
	竹崎幸仁	学校関係者評価委員	書面講評
	奥野柳之介	学校関係者評価委員	
	片山勇一	学校関係者評価委員	
	小谷和彦	学校関係者評価委員	書面講評
	樋口美和	学校関係者評価委員	書面講評
	滝澤治	学校関係者評価委員	
	黒田マヤ	学校関係者評価委員	
	宇都宮美由	学校関係者評価委員	書面講評
	宮本光靖	学校関係者評価委員	書面講評
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>1 学校運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍により活動が制限されたと思うが、マリンスポーツやイルミネーションなど工夫した活動が行われている。マリンスポーツは三瓶で行えるとなおよい。 ○ 生徒が大変幼く、自己肯定感が低いと感じる。素直で優しい、頑張り屋さんの面も持っているので、教職員から声を掛け、信頼し励ますことで勇気付けてほしい。 ○ 登校時に会った時、笑顔で挨拶する生徒と何も言わない生徒との差が大きい。社会に出た時には大事なことになるので今のうちから意識させておくことが大事である。 ○ 学校行事について、協力してもらおうべき会社経営者が知らないケースが多々あった。文化祭やイルミネーションなどより多くの人に見てもらおう方法を検討してはどうか。 ○ 学校の存続に向けての学校全体のムードや取り組みに勢いを感じない。学校を残したいとの熱意も伝わってこない。 <p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先生方にはしっかり指導していただいているようだが、生徒にはもう少し向上心を持って学校生活を送って欲しい。 ○ 学習時間調査で年々学習時間が低下しているという評価だが、机に向かってゴリゴリ勉強するのみが学習ではないと思う。集中して家庭学習ができる環境があればダラダラ長いよりは良いと思う。 ○ 家庭学習の習慣がもとめない生徒もいるので、生徒との信頼関係を築きながら生徒自らが改善できるような長い目で支援が必要である。 ○ 公営塾スタッフと協議しながら、生徒自らがこうなりたい!という目標設定をし、できた、やれたを積み重ねていく成功体験をして欲しい。 		<ul style="list-style-type: none"> • 地域とコミュニケーションを取りながら、自己肯定感や自己有用感を高める機会を多く設けたい。 • 子どもを褒め認め、モチベーションを高める教育実践を継続する。 • 挨拶などの社会人としてのマナーを教えたり、学校生活が楽しくなるよう学びの充実に努めたい。 • HPの更新の他、SNSや町内の回覧板、ビラ配布などPR活動を積極的に進めたい。 • 三瓶分校活性化委員会で地域の方々からいただいた意見を教職員全体で共有し、できることを行いたい。 • ICT機器を活用するなど、さらに生徒が興味・関心を持つ授業、分かりやすい授業に努めたい。 • 課題の事後指導を徹底したい。 • 学習内容が理解できる喜びを味わえるように個別指導にも引き続き力を入れる。 • 公営塾との連携強化を図り、生徒の成功体験を増やしていきたい。 	

3 生徒指導・安全指導・特別活動

- 部活動では人数があったほうが良い場合も多いので、宇和高との合同チームが軌道に乗ってきたのはいいことである。大いに進めて欲しい。高校生にとって学校生活における部活動の占める割合は大変大きい。部活動が充実していると学習意欲の向上にもつながる。

4 進路指導

- コロナ禍であったが就職内定 100%である。
- 進路情報の提供については、オープンキャンパスの案内や各学年での進路に関するホームルーム活動が実施できている。

5 人権教育

- 人権劇「姫塚物語」への取組を称賛したい。中高の連携、地域への働きかけなどよく頑張った。
- 地域への啓発不足も一因し生徒以外の参加者が少なかったのが残念だった。
- 生活スタイルが違う中高生での合同練習、時間の設定など大変だったと思う。着付けや演技指導では地域からの積極的な助けがあった。

6 現職教育

- 公開授業を講演会などと抱き合わせにするのはいいが、保護者の平日参観は、自営や時間の融通ができる人でないと普通は仕事があるので難しい。生徒が保護者に案内プリントを渡さないのも参加者が少ない原因かもしれない。

7 保健・安全管理

- 保健活動の充実では「保健だより」の内容を生徒の健康課題に沿ったものになるように工夫されている。
- CO2 モニターや加湿器を導入し、生徒・教職員の健康維持に気を配っている。三瓶分校から感染者が出ないように今後とも気を緩めずに最大限の注意を払ってほしい。

8 事務

- 樹木剪定及び除草作業が必要な時期に行われており、美しい学校環境づくりができている。
- 本校・分校で共同購入するなど予算削減の努力がなされている。

9 その他

- C-LAB の活動内容や状況について市との連携をもっと強化して発信するとよい。
- 三瓶分校を志望するのは「少人数での学び」ができるからだ。生徒一人ひとりにかける時間が長いということは保護者にとってありがたい。
- 家の手伝いが忙しい生徒、兄弟の面倒をよく見て学びの意欲が湧かない環境にいる生徒、勉強は好きではないが学校に居場所があり好きなことを見つけている生徒、スタートラインから今までを振り返ると、あの子がこんなに成長した、と大きなプラスの変化をしている生徒もいる。学校だけでなく、地域全体で生徒一人ひとりを長い目で見守り、期待を込めて支援することが大切だと思う。三瓶分校での経験、体験を積み重ね、自己肯定感を高めて、しなやかでたくましく育っていくことを願っています。
- 地域の方から学校のため生徒のためにできることがあれば声をかけてくださいと言われています。

- ・宇和高との合同活動を通して各種大会に出場して、積極的な生徒の活動を引き出したい。
- ・宇和高への生徒送迎の仕方を改善したい。
- ・人数が少ない中、好ましい人間関係が築けるように指導したい。

- ・保護者と学校が一体となって進路指導の更なる充実に努めたい。
- ・参考となる Web サイトの紹介や説明、ガイダンス等を行うことで、低学年から将来の進路デザインを構築できる活動を充実させたい。

- ・地域への周知では、三瓶町生活福祉課を通して回覧板への掲示を行いたい。
- ・上演日時に原因があると思われるが、地域の PR 活動にも期待したい。
- ・連携できる人権関係機関について教職員に周知し、いつでも利用できるようにしたい。

- ・プリント、HP と一緒にマチコミメールでも案内したい。
- ・公開授業を研究授業として捉えてもらえるよう方法を考えたい。
- ・C,D の評価を付けた教職員には改善の意見をアンケートに書いてもらうようにする。

- ・健康だよりの記事を生徒に主体的に作らせた。

- ・保健委員会で校内放送や掲示物の作成、換気等の環境衛生活動を実施し、三高生の健康課題を解決したい。

- ・環境整備と安全管理を徹底し、修繕箇所の早期発見、早期対応を図りたい。
- ・本校と連携しながら教育効果を上げるための予算執行に努めたい。

- ・C-LAB スタッフと教職員の連携を深め、活動を発信していきたい。
- ・少人数のメリットを活かす授業や活動を各課、教科、学年などの集まりで検討するようにする。

- ・学校が常に地域に開かれているよう工夫し、教職員が外部の意見を吸収できるよう努める。

- ・生徒理解は家庭環境の理解から始まると思うので家庭訪問や保護者との連携を大切にし、長期的な視点で生徒を育てていきたい。

- ・地域の方々の支援をいただきながら、地域に愛される三瓶分校、三瓶分校生を育てていきたい。

